SPECIAL INTERVIEW

言ってもいいかもしれません。 業界の勢力図を大きく塗り替える 業界の勢力図を大きく塗り替える

介護においても、

サービスは揃

もなる。これから3~4年の間で域の介護事業者を淘汰することに

などの変化が求められるでし 共同で新しい金融商品を開発する

▲話題は地域包括ケアから遠隔医療にまで及んだ

はどのように考えているのでし

いる問題が本部に伝わりにくいといる問題が本部に伝わりにくいといった側面もあります。大手ほど簡はごといる問題が本部に伝わりにくいといばごとの連携には入りにくいとい

山本 介護事業者が淘汰されるというのは地域にとっても喜ばしいことではありません。そうならないためにも、また乱立して連携どいためにも、また乱立して連携どいためにも、また乱立して連携どいるというのは地域にとっても喜ばしい

(J/LIS) で、イニシアティる地方公共団体情報システム機構は須藤先生も委員を務められてい

ば処方の仕方やどういう治療方針プロである医師がレセプトをみれエビデンスとは言えませんが、

須藤 個人情報保護を名目にしてそが、個人情報保護を名目にしてそが、個人情報保護を名にはしますが、個を方向性が示されると思います。 る方向性が示されると思いますが、個のガイドラインを改定しましたが、個人情報保護法の改正案が

を取って進めていただくことをリノレー8)で、イニシアティ

個人情報の利活用

を立てているかは類推ができると を立てているかは類推ができると を立てているかは類状、及び将来への を学的な対策、薬価、ジェネリッ クの導入の仕方などへの参考にし てもらいたいと考えています。

ドルとメリット

今は査定のために自治体が

本もこれに倣うことになるでし

う一文を追加しました。個人情報の流通を阻害してはならないとい

報連携基盤システム運用について

ったことがあります。

ンスなどが足かせになり、逆にない、大企業としてのコンプライフ

要があるのかもしれません。

い。こうしたリスクも考え、対応ために地域での事業が成り立たな

には大手の役割があります

うものを決めています。情報連情報システムというのは独自に

と言いましたが、今後連携の

企業、特に介護事業者によって

保険商品の変更を迫られる事態が

を聞きました。医療の進展で生命須藤 保険業界の方からこんな話

クラウドで拓く

を見える化を進めると同時に、地と見える化を進めると同時に、 が患者ごとにできてきたときに、 が患者ごとにできています。 情報システムというのは利便性 と見える化を進めると同時に、地

ければなりません。これまでの生生命保険の存在基盤を問い直さなから成り立つわけで、こうなるといてしまいます。保険は不確実だ

が崩れることになります。損保と命保険というビジネスモデル自体

(36面からつづく) は自社の業務システムに介護記 を入力すれば、自動的に情 がなどを入力すれば、自動的に情 がなどを入力すれば、自動的に情

須藤 保食を早り で、幅広いた酸サービスを揃えているにも関からず地域の中から姿を消すことも現実としてあるわけです。

す。特に医腎・下をこう・山本 さまざまな面でマイナンバ

が、いずれは也与ヨミュー・に普及した段階になると思います

ける必要があるのではないでしされていなかったところに目を

か。といった面ではいかがでしょうといった面ではいかがでしょうす。特に医療・介護における活用す。

ータやシステムは、当機構が進めの時に話し合いのベースとなるデの時に話し合いのベースとなるデッには十分に考えられます。それについて民間に協力を要請するが、いずれは地方自治体も情報連が、いずれは地方自治体も情報連

きた結果では、最終的にはデータで決めていくことだと思います。

主体性を尊重してそれぞれの地域場の専門職・システムベンダーの

検査を繰り返したりすることは時が、これをやらないことには我がが、これをやらないことには我が

り方・力点をどこにおくのかは現もらっていますが、システムの作

タの活

るなど、2025年に向けて王宮また医療介護総合確保法が成立す

尊重する必要があるでしょう。

としてご協力いただいていますただ、山本会長にも主要メンバ

東京大学高齢社会総合研究機

|本 昨年は病院から在宅への流

地域医療にも基金を 中核病院だけでなく

重な意見であり国としてもこれは 気藤 マイナンバー制の導入につ 須藤 マイナンバー制の導入につ

医療の推進も本格的にスター

#### SPECIAL INTERVIEW

### 護・医療の未来

されていなかったところに目を向らすれば、これまでなかなか投資とになる。地域包括ケアの観点か の強いところで決められていくこう。そうでなければ結局は発言力積極的に声を挙げるべきでしょべきだ」と地域医療に関わる人が が が、中核病院だけでなく、も せんが、中核病院だけでなく、も せんが、中核病院だけでなく、も とあります。現状 にも活用可能」とあります。現状 にも活用可能」とあります。現状 情報連携は民間レベルで進んで行益などを考慮しながら多職種間の療・介護事業者双方の利益・不利 ビッグご 膨張する

や訪問看護などにも活用して

による情報連携については両医師職も含めた医療・介護の多職種間総務省の支援で進めている、介護総務省の支援で進めている、介護権(委員長は須藤教授)が厚労省・ 会にも好意的に捉えていただいて 時間はかかると思いますが、医

い。実現に向けた課題、まこれ種間の持つ情報連携は欠かせ、

者にはどのような影響をもたらす

れは厚労省の文章にも「地域包

しょうか。 と 
ていくためには、多職 
在宅医療を更に充実し しました。

実装し、実証実験を繰り返してきのプロジェクトではそれを研究・は基本的にはできませんが、東大 らB医療ネットワークを使用する 継げることが必要です。現在、に移ってもその方のデータが引 なるシステム同士だとデ 例えば、ある患者さんが、A医 クを使う地域

る社会保障費抑制 用必須

のためによく働いていらっしゃい方は寝る間も惜しんで本当に地域 った状況があります。私も目のく、介護側が書き込みにくいと より一層医師側の意見が反映 いますが、在宅医の

多く、介護側が書きてよって、診療録の延長のような仕様もおいてICTの活用は医師が中心というのも、今でも情報連携に

カナミックネットワーク 稔会長 大きく影響してきます。 ータにアクセスできれきに病院側がこの生活デきに病院側がこの生活デは極めて重要なもので が持っている生活データ 須藤 また、介護事業者 関わってくることになり に体制作りは必須です だり違う地域に移っ しても、そこの医療 いろいろな法人が タ変換による情

大丈夫ですが、ころ情報責任者)を

ない。大都市は殆ど)を置いている役所

その周辺では情報

とは齟齬なくスムーズな開発を進

し、膝を突き合わせて話し合うこ各専門職や開発チームが一堂に会

ion Of

cer/

最

めます。柏市で進めてきたように、それらをまとめることは困難を極

CIO(Chie 自治体が中心に たときに、情報:

システ

ムの部署に

化なってやろうとし

介護事業者から個別に意見を聞く くにあたり、医師会・看護師会・種情報連携システムを構築してい

相互に意見や思いがあるの

も成功していま

いたのでこちら

須藤

地域包括ケアに向けた多職

東北の石巻市で

先ほどのお話にあった基金 に必要性の高いもので合併症が多い高齢者にお

A SECTION AND SECT

& AND DOWN AND

NA DAMA

SHEET ! TOHIN-TON-! HEREN

APLEASIBLE ALL

ONGSTOND AVA
LONG ALL

AND ALL

AND
AND
ALL

AND
A

Oncoloring to a Tract to Tract Trac Tract Trac Tract Tract Trac

O MANAGEMENT AND A SAN SERVICE AND A SAN SERVICE

不可以的

違和感を持つ可能性は否定できま なったとき、医療側が中 能性は高いと考えてい (情報連携システムを構築す 介護事業者はそのシステムには高いと考えています。その

作りなどが進展 距離といっても東 しない原因にもな

> める では非常に重要です。

(主に大都市圏)、 約

### WEST THE STORY Parent ext Ø 3-9-00 CELD シシステム研修会 ではないできない。 HERCDO.

現在、 約70の自治体・医師

会

元を良く知る自治体が主体的に「で距離の持つ重みが変わってきまで距離の持つ重みが変わってきまれと九州、平地と山間部などまる 北と九州、平地

**と思います。** 用は、病院において治療方法やそ山本 医療ビッグデータの有効活 す。それを今度は地域医療の中を可能にしていくものだと思い のタイミングなど「治療の最適化」

ためにも医療・介護における情報する側にもみんなにメリットが出するのか、その なければならないと思います。連携基盤構築は役立てるものにし

めていくこと、またその情報を分ムメーカーが継続してデータを集 保障費を最適化させる可能性があ そのためには当社や他のシステ また、我が国 もあるでしょう フローだけではなくスト 維持するために こになるなど、

ドルがあります。こうした点を国門職、法人の同意もすべて確認し門職、法人の同意もすべて確認しいの思惑すべて確認しいの思考本人の同意とすべて確認しいの思考をはあります。 でも利用価値が高いものです。報連携基盤の構築はそういった面報連携基盤の構築はそういった面類に対しては医業の更なる透明化

しかし、地域医療情報のビッグ

する専門家の育成も必要になり

## 実現のため

フルハイビジョンあるテレビやPG 医療・介護従事

者の不足は恒常化し、将来においてもその解決策が見えてこない。 遠隔医療は人材不足を補う手段となるのか。 遠隔医療は人材不足を補う手段となるのか。 な設備を導入・活用することにそれなりの評価、制度としての保証をする必要があるのではないかと考えています。

大学病院の医師も、整形外科で くらい違うんですので手術でも使えるので手術でも使える

### 潜む 情報 ŧ 利便性 き 彫 1)

東京大学大学院 情報学環長·学際情報学府長

修教授

須藤

とでいると言えます。 さていると言えます。 と療の資質、経理の実態を全国的 に把握し分析したいというニーズ はあって、それはレセプトではで はあって、それはレセプトではで

を見ながらエビデンスに基づいてわかってくると思うので、データで保険点数をつけるべきなのかも いうところにインセンティブとしこに設備投資が必要なのか、どう

う。個人情報を活用して、馬戦略にも資すると言えるでたな成長を促すことにもなり 期待できるだけでなく、経済の新これは医療・介護の質の向上が

> の社会保障制度を し、今後はお金の

に高まることを考えれば、医療機化で医療・介護への支出が必然的に負担をかけることになる。高齢しなければならない、それは国民 ます。国も社会保障費をなんとか ことも現実として出てくると思い ことも現実として出てくると思い はある程度の高負担を強いる はある程度の高負担を強いる

めインフラを 宅の遠隔医療

モニターなど、コー一今の主流でも ても話が及んだ。 の約4倍の画質で映し出すと言わ

討してほしいと思います。 で入れて通信インフラの強化を検を入れて通信インフラの強化を検を入れて通信インフラの強化を検 することはできます。しかし、何あるので、さまざまな危険を察知 介護の必要性の高い人が果住する族介護もそうですが、特に医療・ いうことを考えれば、在宅での家ない。人材資源が十分ではないと 出 高齢者住宅や施設では遠隔医療の かあったときに駆けつける ための通信インフラは必須となっ 今は見守り機器といったセ 技術は非常に優れたもの しかし、

上での評価・選定、運用のルールが確保されていないのが現状でが確保されていないのが現状で \*ESPESS\* \$65000 · RESERVANT SPECIAL Tree Co MONRO - Sec. DOMESTICS 00000 Other PROTER

▲カナミックネットワークのシステム画面

1万338事業者で導入70の自治体・医師会

ではありません。4Kという高品てしまうような今の画質では十分 出 **山本** おっしゃるように、遠隔で 8Kになればもっと鮮明にな

の総合医の連携もかなり楽になり 位の規格で画質が担保されたもの あれば、専門医による遠隔診断・ これにより病院の専門医と在宅

か。そこが変わっていけば、病院わってくるのではないでしょうますし、仕事の進め方も大きく変 化が進み、病診連携の更なる進展の地域医療連携室においてもIT

めには、 けてくるものと予想され インフラ整備が必要になってきま てくるものと予想されます。 その先には8Kという展望も開 今のように集合住宅で また4Kでの遠隔医療のた 無線・および有線の通信

点に留意してもらいたいと思いま施設の建築会社などにはこうした 者住宅における通信インフラの充て遠隔医療を考えると、特に高齢 メガを分けて使うようでは難 今後、 地域包括ケア

# のためにも、最重要課題の一つと位置づけられる「情報連携基盤の整備」とで宅へ本気で舵を切ったことは明確だ。今回は持続可能な社会保障制度し遂げなければならない。昨年の診廢報酬改定を見ても、国が病院からはるため、2025年に向けた地域包括ケア体制の構築は何としても成高齢者の増加とともに加速度的に積み上がる社会保障費に歯止めをか高齢者の増加とともに加速度的に積み上がる社会保障費に歯止めをか 腰連携クラウドシステムの先端を走るカナミックネットワークの山本稔について、 その権威でもある東京大学大学院・須藤修教授と、 医療・介

が事業を左右

す。いることにも繋がりま

をういった意味

地域全体を一つの

では先導してまとめまくいってきたため情報連ってきたため情報連ぶくいっています。

手伝いをさせていただこうと考えていますので、もっと積極的にお用しているシステムをすでに持っ社では幸い柏市などで構築して運